



昭和十三年七月一日

時局特報

(第四十四號)

極秘

臺灣總督官房外務部

Handwritten mark or signature at the bottom of the page.

主要資料名略號

	Canton Daily Sun. D.	C. D. S.
	China Weekly Review. W.	C. W. R.
	North China Daily News. D.	N. C. D. N.
	South China Morning Post. D.	S. C. M. P.
支 那	新 聞 報、日、.....	新聞報
	申 報、日、.....	申報
	廣東七十二行商報、日、.....	廣商報
	廣州共和報、日、.....	廣和報
	Manila Daily Bulletin. D.	M. D. B.
比 律 賓	Philippine Herald. D.	P. H.
	Tribune. D.	T.
	Opinion D.	O.
印度支那	Courrier d'Haiphong. D.	C. d. H.
	Bangkok Times. D.	B. T.
暹 羅	Siam Chronicle. D.	S. C.
	Singapore Free Press. D.	S. F. P.
馬 來	Straits Times. D.	S. T.
	Bataviasch Nieuwsblad. D.	B. N.
蘭領印度	Soerabaiasch Handelsblad. D.	S. H.
	Asie France,aise (Paris) M.	A. F.
	Economist (London) W.	E.
	France-Outre-Mer (Paris)	F. O. M.
其 他	London Times. W.	L. T.
	New York Times. D.	N. Y. T.
	Nieuw Rotterdamache Courant. D.	N. R. C.
	Statist. (London) W.	S.

(備 考) D.- Daily, W.- Weekly

日—日 刊

支 那 一

- 一、香港貿易に對する廣東分離の影響
- 二、汪兆銘は即時和平を願ふ
- 三、無駄はなし
- 四、日本側は中支那に於て阿片の専賣を
實行せむとする
- 五、廣東陷落の理由―悲觀するな

臺灣總督官房外事課

英領馬來 一七

- 一、廣東陷落は新嘉坡華商に打撃
- 二、支那救國運動を倍加せよ
- 三、極東在住英大使、總督級の會議開催されん
- 四、福建攻略は挫折
- 五、モルツカスに新空軍根拠地
- 六、新嘉坡空港の躍進
- 七、無着陸七千哩埃濠長距離飛行完成

タイプライター用紙

支那

一、香港貿易に對する廣東分離の影響

昨十四日發表の香港貿易統計に據れば十月中香港貿易は九龍
鐵道の遮断及珠江の閉鎖に依る影響は未だ微少であつた。若し
兩支那との交通が引續き開放されて居たとすれば十月中貿易統
計は記録的の最高に達したであらう。香港の兩支那との分離孤立
の影響は十二月中旬に於て本十一月の貿易統計が入手せられる
までは詳細不明である。

兩支那よりの輸入

八月	八、四二二、七三七弗
九月	九、八八四、五七四弗
十月	六、五五一、〇四五弗

1

臺灣總督官房外事課

兩支那への輸出

八月	一〇、二〇〇、〇七〇弗
九月	一九、三〇五、五七二弗
十月	九、〇一八、二一〇弗

2

貨物自動車の輸出—右の中九月輸出額中には一九三八年一月以
降九月迄公路に依り兩支那へ輸出され今開始して記録に掲載さ
れたところの貨物自動車 Motor Lorry の輸出額一、一四八、七
一三弗及自動車車臺の輸出額六、一四四、七六七弗を含め合計
したものである。若し十月統計に貨物自動車及車臺輸出額を包
含すれば一二、〇一二、〇九二弗である。

八月以降香港より廣州灣への輸出額殆んど倍化し、八月五三
五、一四二弗、九月七一、七三〇弗、十月一、〇三一、一五
六弗と増加を見るは興味ある現象である。

今般始めて公表された貨物自動車及自動車車臺の輸出額に付

タイプライター用紙

きて見るに一九三六年一月―九月に於てトラック二、二四一臺
價額九、七五九、八五三弗が香港より支那各地へ輸出されたこ
とが明らかになつた。(一一一、一五―S・O・M・P)

二、汪兆銘は即時和平を願ふ

(重慶電報)―支那國民黨副總裁兼中央政治會議主席汪兆銘は
本日(十月二十一日)當地に於て、ロイタル通信社記者に對し
談話を發表するところあつたが、之に據れば「若し、日本が支
那國家の生存を妨害しない締結条件を提出すれば、吾人は之を
受諾しても可である。之を談判の基礎としなければ、到底調停
の餘地がない。即ち、一切は日本側提出の條件に依つて定まる
ものである。吾人は強ひられて武力に訴へたのであり、現下の
戦争は、固より吾人が發意したのではない。吾人は即時和平を
願ふが、尤も、支那の獨立を妨害しない條件を必要とする。支

臺灣總督官房外事課

那側より言へば、吾人は未だ會て、調停の門戸を閉鎖したこと
はなく、又ヴェルサイユの締結和會議當時に於ても、吾人は未だ
會て列國の調停を拒絶したことはない。去年獨逸政府が日支時
局調停に乗出した時にも、吾人は敢へて之を拒絶しなかつたの
である。又最近國際聯盟が、規約第十七條の適用問題を審議し
た時にも、吾人は會て戦争の結末をつける用意がある旨を宣
した。兆銘は更に、英支關係に言及して曰く、「支那一部の輿
論では、日本は英國が全然作戦の準備をしてゐないことを知つ
たから、大膽にも兩支那を侵犯したのだと見解する。之が爲に
或る一部分の支那人は、酷く英國の態度を非難したが、其の實
假りに、英國が作戦の準備をしてゐても、若し當時歐洲戦争が果し
て勃發したならば、總じてやはり、支那にとつては、有利では
ない。蓋し、日本は歐洲戦争に對し、中立を守り専ら支那征討
に努力し得るからである。即ち日本の外相は、曩に歐洲の政局

が緊張を示した時に、曾て若し、歐洲戦争が発生すれば、日本は其の中立的態度を維持するであらうことを明言した。斯く日支戦争問題は、國際紛糾の影響を受けつつあるが、吾人は世界のどの一國に對しても、日本の支那に於ける自由行動を默許せむとする其の態度を責めたい。次に、南支那方面の日本軍は、即ち從來東三省に駐屯してゐた軍隊を編制移動したものである。蓋し日本は既に、ソヴィエトが目下日本に對し、作戰意思のないことを知つたからには、東三省駐屯の兵力を、南支那に移動し得たのである。余の見解を以てすれば、南支戦争は將に長期作戰となるべく、之は英國の香港に於ける、又佛國の安南に於ける權益に夫々甚大な影響を與へるであらう。故に、余には英佛兩國が終始拱手傍觀の態度を持するとは思へない。余は英佛が米國と合作し、起つて日本の對支侵犯を阻止せむことを望むのである。若し、果して然れば、ソヴィエトも之に追従す

臺灣總督官房外事課

るであらう。余個人としては依然、英國は將に支那に適當な援助を與へ、以て國際秩序及公道を維持するであらうことを信ずる云々」と。

(一〇、二二一導報)

三、無駄ばなし

昨日汪兆銘先生は、ロイタル通信社記者に對し、談話を發表したが曰く、「若し日本の提出する媾和條件が、支那國家の生存を妨害さへしなれば、吾人け之を受諾しても可である。……」とあつたが、吾輩は之を讀んで、甚だ奇異の感に堪へない。

本來兆銘先生がこれ迄、發表した奇文怪語は、既に少くない。此の前後が海通社記者に對し、語つた一節は、上海の各新聞社は何れも之を海通社の造謠に過ぎないと思推してゐたから、當時同社の發表したニュースをば全然信用しなかつたのである。之は某國人に乗せられない底意に出たのであるが、吾輩は之と

タイフンライター用紙

と同時に、光銘先生が今後今少し、談話を慎んで貰ひたいと思ふ。然るに料らざりき、此の度彼は又彼の此の前の談話は、結局「興國」の所以でないで、所謂海通社の造幣を裏書するやうな談話を發表したのである。何を指して「支那國家の生存」と言ふか。まさか滿洲國の獨立を承認し、敵人に管理を委ねる意味でもあるまい。蓋し其の實敵人が滿洲を手に入れても、決して心から満足しさうにも思へない。若し然らざれば、彼日本は蘆溝橋へ来て、我が儘な軍行動なんかしなかつたであらう。光銘先生はまさか此の事實を知らなかつたのではなからう。即ち敵人は滿洲から手を引かうともしないばかりか、滿洲より更に廣大な領土を物にしたいのではないか。だから支那國家の生存を害しないからには、敵人を支那の領土内より追出す外第二の方法があるまい。若し敵人に、支那國家の生存を害しない意思があつたら、彼日本は四、五十萬人の國民を犠牲にしてまで

臺灣總督官房外事課

支那へ来て亂暴をしなかつたらう。汪先生の斯る談話は、失禮乍ら吾輩は之を無駄ばなしと言はざるを得ないのである。之は果して我が國人の神經過敏に依るだらうか。汪先生は支那國家の生存は、前記三省を省いても、構はない位に考へ、之を談判の禮物として贈るつもりであるだらうが、將來敵人は一步一步と占據地域を擴大し終には、支那全國を占領して了はなすとも限らない。尤も、汪先生の家屋を占領し、汪先生の生存を害しない事は確實だらう。事態が斯うなつても汪先生はまさか之を、支那國家の生存を害しない所以とは認めますまい。國家危急の今日に於て、光銘先生の如き支那國家の生存を害しない和平を夢見る徒輩があるとは全く思も寄らなかつたのである。而も彼汪先生は、公然此の種談話を發表したが、之は單に國人の抗戰意識を減滅する許りでなく、恰も支那の抗戰力に一撃を加へたのも同然であらねばならぬ。

吾輩は失敗を恐れない。吾人は只管之等國人が意識的又は無意識的に、和平の理想論を發表することを惧れる。止せ！汪先生。

思ふに吾人の抗戦は、平和の爲であり正義の爲である。然るに敵人の進攻は、侵略の爲である。然らば是非曲直は、殆んど議論の余地がない。若し、敵人が自分の非曲を承認すれば彼日本は即刻無條件に、支那から退出すべきである。今更辯和なんかを必要としない。然らざれば吾人は、何處迄も抗戦しなければならぬ。即ち敵人を完全に、支那領土内から驅逐する迄抗戦すべきである。

最後に吾人は断言する。最後の勝利を得るには抗戦の決意如何並に民意の向背如何に注意せねばならぬことを、今更吾人は調停を必要としない。蓋し平和の門戸は夙に固く閉鎖されてゐたからである。真正な平和の大道は、吾人が不撓不屈

臺灣總督官房外事課

の精神を以て、之を開拓しなければならぬ。今日調停を云々するものは、無駄ばなしである。吾人は「和を口にするものは漢奸だ」と云ふ老口號を叫び出したものである。云々と。

(一〇、二三一華美農報)

四、日本側は中支那に於て阿片の専賣

を實行せむとする

十月二十二日上海大陸報の報道に據れば、日本側は中支那の占領區域内に於て、毒化政策を推進し、即ち阿片の専賣計畫を實施せむとする趣である。蓋し大陸報は、關係方面に就いて、探査して見たが、之に據れば、日本側の出先官憲にして、此の種阿片専賣計畫に垂涎するものは決して少くないけれども、未だ此の毒物取引を請負ふ適當な人を見當らないのである。猶日本側としては、此の計畫を實施するに先立つて、

必らず幾多有力な毒物仲買人を物色せねばならぬが、一部支那人では、若し此の度件の阿片專賣計畫に協力するとすれば、將來は必らず、自分等も稱されるに違ないと考へ、容易に願を出して来ないのである。尤も、日本側は斯く計畫實施を焦慮する所以は、蓋し中支那占領區域内に於ける傀儡政府は、極端に歳費の不如意に困惑するからである。即ち、阿片の專賣計畫を實施することが出来れば、生財に大道があり、従つて大に儲蓄政策を施し得るであらう。然し今の處では、日本側にまだ確固たる計畫が樹立されるに至らない。故に、一般の毒物販賣人は、依然北支及中支の占領區域内に於て通行證を入手し、平常通り、阿片の運輸販賣に従事しつつあるが、彼等販賣者流の談に採れば右通行證を入手せむとするには、日本側に對し、巨額の永金に返されさうもない保證金を支拂はしめられると云ふ。而して此の種非法行爲は、主として日本側下級官吏の所爲であり、上

臺灣總督官房外事課

級官員は全く關知しないと旨ふ人があるも、それにしても未だ一度も阻止せむとする意向あるを感かないから可笑しいと。

又別なニュースに據れば、中支那及其の他奥地の各地に於て販賣される毒品阿片は、大部分北京方面及南京あたりより船便で輸送され殊に前者は、上海へは寄港しないで、天津から南京へ直航するのである。而して、其の阿片の多くは熱河産であるが、滿洲産も亦少くはないと云ふ。

上にも亦毒物取引の中心地である。併し乍ら其の毒化範圍は比較的廣くはない。蓋し揚子江流域には、今でも支那の遊撃隊が、活動しつつあるから、販賣者流は縱令日本軍の通行證を所持しても途中取押へられる懼がないからである云々と。

(一〇、三三一導報)

タイプライター用紙

五、廣東陷落の理由―悲觀するな

廣東は遂に陥落した。之を外面的に見れば、支那は非常に損失し、日本は大いに勝利を得たのだらうが、余は必らずしも、さう思はない。抑々日本の、南支那に於ける作戦は、(イ)日本國內の焦躁氣分を緩和し、依つて朝野の視線を南支那に向けしめ(ロ)支那の團結體制を破壊し、以て其の分化作用を促し、妥協に便せしめ(ハ)ヒットラーの英佛兩國を威嚇する筆法を真似し、斯くて其の對支壓迫、従つて支那側の講和申出を期待せむとする等の諸趣旨に則るものであらう。而して廣東が斯くも速に、陥落したのは、さつと次の様な二大理由がある。

(一)廣東は海岸線に近いから、日本軍は容易に海軍力を用ひることか出来る。故に軍事上は輸送及連絡共、極めて有利である。従つて實力の消耗もごく輕微で済むのである。之等の諸點は到底上海、太原及濟南等の比肩し得るところではない。剩へ

臺灣總督官房外事課

支那の軍事當局者は、抗戰當初から廣東拋棄の意思があつたのだ。蓋し上海戦役の前例もあり、當局は支那側の損失を輕減せむとし、且つ戦略上、敵軍を奥地に引入れることを得策と認めたからであらう。

(二)廣東は陳濟棠時代より、百政が腐敗の極に達し、中央當局からも、持てあまされつつあつた。後任の余漢謀は又、無能なもので、改善はおろか、寧ろ改悪されたところが多い。即ち漢謀に委ねた廣東だから、よく抗戰し得るとは思はれない。これ、中央當局が南支那の危急を知るや、直に白崇禧又は何應欽を、其の最高指揮官に選派した事實に徴しても、よく納得出来る事柄である。故に廣東の急速な陥落は、毫も之を異にするに足らないと信ぜられる。

之を要するに廣東は陥落しても支那としては、西南又は西北の一角に、外國との交通路を保有し、従つて武器及彈藥の供給を

タイプライター用紙

16

15

受け得るから、敢へて其の大局上に及ぼすべき影響を重要視し
懇観するには當らないであらう云々と (一〇、二七一導報)

臺灣總督官房外事課

タイプライター用紙

(日本標準規格 B.4)

英領馬來

一、廣東陷落は新嘉坡華商に打撃

新嘉坡の商業は日本軍の廣東占領に依つて或る程度の打撃を免れざるべしと看做してゐる。

華商は支那人街に於ける取引が近き將來平常に復するや否や見込が立たないといふ。

新嘉坡の物價及個人の郵便差出金は廣東陷落によつて影響を受けてゐる。

左して悲觀的ではないが、華商の大部分が今後の商業の門扉たる兩支の日本攻略は相當の影響を與へるであらうといふ。

廣東輸出の最大市場の一たる新嘉坡は廣東の紡織工場よりの供給を得られぬであらう。又過去に於て廣東より輸入してゐた錫詰類、調製肉、爆竹、調製蔬菜、及禮拜紙は今後杜絶するであらう。

臺灣總督官房外事課

あらう。

物價の騰貴も豫想されるが、目下の處一般に平靜に、騰貴し
さうにも思はれないといふ。(一〇、二七—B T)

二、支那救國運動を倍加せよ

新嘉坡在住廣東人に對し支那救濟運動を倍加すべしとの要求が十月二十六日夜スミス街頭に於て廣東人代表者 CHING KOO SUN によつて爲された。

出席者約七千名で、支那人學生、教員、商人、書記、工場女工、家僕及苦力で二時間以上も立つた儘、約十名の辯士からの愛國演説を聴取した。

氏は、流首に耳を藉すな。廣東陷落によつて落膽するな。金によつて藥品、食物、被服を買い上げ廣東よりの難民を救済すること華僑の義務である。

タイプライター用紙

又救済資金募集の手をゆるめず、一面海峽植民地の法律に準
據せねばならぬ。」云々 (一〇、二七―B T)

三、極東在住英大使、總督級の會議開催されん

極東に於ける英帝國政策の協調が外務省と支那及日本駐在の
英大使間、及後者間に緊密なる折衝と絶えざる意見の交換を行
ふことが漸く必要化して來たと上海に於て發行の「オリエン
タル・アフェーアズ」誌に一筆者が記載してゐる。

日支學變の結果發生すべき多數の問題の中或るものは在東京
大使館員によつて解決し得らるるも、特に重要な問題に至つ
ては兩國大使の間に協力しあはねばならない。

而して今後支那及日本駐在の英國大使、香港及馬來總督、澳
洲及新西蘭各代表者の定期會合が必要となれば、右會議開催地
として香港は最適地となるであらう。」と。(一〇、二七―B T)

臺灣總督官房外事課

四、福建攻略は挫折

福建省侵略の日本の企圖は挫折した様に思はれる。

同省首都福州の南方約三十哩の地點 *Wangshih* に於て日本上陸
軍は運送船に歸還したとロイタルは報じてゐる。

福州に於ける秩序は恢復され、各銀行及諸公署共撤收された
と早くも報ぜられた。

英國驅逐艦 *ダイアナ* 號は福州に急行を命ぜられた由

(一一、三一―B T)

五、モルツカスに新空軍根據地

(パタビア、十一月一日)―今後數月間以内にモルツカス群島
の主島 *アムボイナ* に新たな重要海軍用根據地が設立されんと
してゐる。完成の曉は和蘭新式 *ドルニエ* 飛行艇三中隊が駐屯す
る運びとなつてゐる。

タイプライター用紙

又大飛行場が陸軍爆撃機用に竣工中である。かくてアムボイナは東方よりの空襲に備へる根據地として蘭領印度防空上妥所となるであらう。(一一、三一ST)

六、新嘉坡空港の躍進

民間航空局編纂に係る統計に據れば、本年十月新嘉坡空港を着発せる定期航空機数は従來の記録を突破し、旅客、郵便及貨物いづれも顯著なる躍進振りを示した。即ち十月中發着せる航空機は九十三番、旅客數三百九十人、郵便物七萬六千二百二十七封度、貨物四千六百六十六を數へた。之が七月には夫々六十六番、二百五十四人、一萬九千四百六十一封度、及二千六百六十三封度であつた。

次の表は最近四ヶ月間に於ける諸數字を示したものである。

航空機數 旅客數 郵便物取扱量 貨物取扱量

臺灣總督官房外事課

七月	六六	二五四	一九、四六一	二、一六三
八月	八八	三五九	四六、三六五	二、二八一
九月	八七	三四七	七〇、二一一	三、〇二六
十月	九二	三九〇	七六、一二七	四、六六六

尙 I A、Q A N T A S、K M、K N I M 各社共十月は いづれもレコードを報じてゐる。(一一、三一ST)

七、無着陸七千哩埃濠長距離飛行完成

既報の通り十一月五日埃及領イスマィラを出發したケイフオード中佐指揮のヴィツカース會社製ウエルズリー型長距離爆撃機三機中二機は七日午前四時二分及四時五分(グリニツチ標準時間)に夫々目的地ダーウインに到着、平均時速百四十九哩、飛行時間四十八時間、翺破距離七千六百六十二哩の距離を以て昨年七月ソビエツト鳥人グロモフ氏等が米蘇連絡飛行に於て樹立

タイプライター用紙

した六千三百六哩（時速百二十哩）の世界長距離飛行記録を約千哩も破る素晴らしい新記録を樹立した。

尚途中燃料不足の爲五日午前四時頃チモール島クーパーンに不時着した一機も燃料補給の上再び出發七日午前七時三十六分（標準時間）にドーウィンに到着した。

（一一、八一新日紙）

臺灣總督官房外事課

タイプライター用紙